

他機関合同連携訓練を実施しました

大和市消防本部

大和市消防署は、災害関係機関と合同で、大規模災害を想定した訓練を大和市消防本部消防防災訓練センターで実施しました。

訓練には、神奈川県警察本部の危機管理対策課即応対策チームと広域緊急援助隊特別救助班（通称：PREX）、米海軍日本管区司令部消防隊、大和市立病院災害派遣医療チーム（通称：DMAT）合わせて約50人が参加し、マグニチュード8の地震が発生し、市内8階建てマンションの1・2階部分が倒壊したことを想定した救出・救護訓練を実施しました。



平成26年度火災調査特別研修会の実施

尼崎市消防局

尼崎市消防局では、平成27年3月13日(金)に平成26年度火災調査特別研修会を実施しました。

本研修会は、消防職員として必要な火災調査に関する知識の習得及び技術の向上を目的に実施しています。今回、講師に一般財団法人日本消防設備安全センター違反是正支援センター次長の北村芳嗣氏を招き「火災調査をとりまく課題」と題し、火災調査に長く携わられた経験を踏まえ、情報公開に関することや火災調査時における留意点などについて講義をいただき、消防職員171名（近隣消防本部含む。）が参加するなか、大変有意義な研修会になりました。



研修会の様子

消防通信 望楼 ぼうろう

遠野市消防本部デジタル無線システム開局

遠野市消防本部

3月24日（火）消防救急デジタル無線・市町村デジタル防災行政無線（移動系）開局式が遠野市総合防災センターで行われました。式典では、本整備工事にご協力をいただいた団体及び個人に、市から感謝状が贈られました。また、セレモニーではテープカット、デジタル無線開局宣言、無線交信のデモンストレーション等を行い、本格的なデジタル無線の運用が開始されました。

本市は、消防・防災無線システムのデジタル化を平成25年度に新設された総務省「無線システム普及支援事業費等補助金」を財源として、全国第1号の交付決定を受けました。今回のシステム導入により、消防救急及び災害時の迅速な情報通信基盤の構築を図りました。



酒田市本楯地区無火災千日表彰

酒田地区広域行政組合 消防本部

平成27年4月22日酒田市本楯コミュニティセンターで酒田市本楯地区の無火災千日表彰が行われ、土井消防長から酒田市本楯コミュニティ振興会会長の青葉徹氏へ表彰状と記念品が授与されました。

本楯地区は平成24年7月23日から無火災を続け、平成27年4月19日に1,000日を達成されました。本楯地区は平成10年1月に防災機材庫が整備されたことを契機に自主防災組織が発足、平成21年4月にコミュニティ振興会組織が設立され、住宅用火災警報器の設置にも積極的に取り組み、地区全体で火災予防に努めています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】